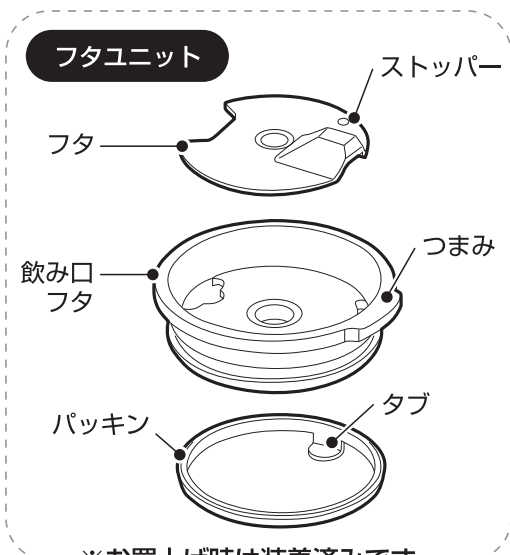


DOSHISHA

のみごろカラータンブラー 360 取扱説明書

CT360

このたびは弊社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
この製品は家庭用です。飲みものの保温、保冷以外には使用しないでください。
また、業務用としての使用はしないでください。ご使用前に、この取扱説明書を
よく読んでから使用してください。お読みになった後も、いつでも見られるように
大切に保存してください。



※お買上げ時は装着済みです

《注意》パッキンが確実に装着されていることをご確認ください。

説明書中のイラストは実際のものとは異なる場合があります。

また品質向上・改良のため、予告なく仕様・デザインなどを変更することがありますのでご了承ください。

ご使用になる前に

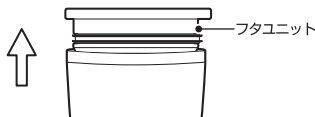
- はじめてご使用になる前に、本体の傷・凹み、フタユニットのひび割れなどの不具合がないことをご確認ください。
- 本体にシールが貼ってある場合は、シールをはがしてからご使用ください。但し、本体に貼ってある底面の製造ロットシールははがさないでください。
- はじめてご使用になる時は、本体内側・フタユニットを中性洗剤をつけた市販のボトル洗浄用ブラシ・スポンジなどでよく洗ってください。
- 品質には万全を期しておりますが、万一不具合があった場合は、ご使用にならないで、お買い求めのお店または弊社お客様相談室までご連絡ください。

D240618

ご使用方法

1 フタユニットをはずします。

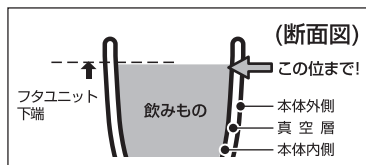
フタユニットを矢印の方向に
はずしてください。



2 飲みものをいれます。

飲みものの量は右記図の位置までにしてください。
入れすぎると、フタユニットを閉めたときに
飲みものが溢れ出る原因になります。

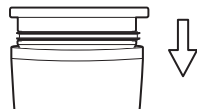
本体に少量の熱湯(冷水)を入れ、数分間予熱
(予冷)すると保温(保冷)に効果的です。



※パッキンは必ず正しく取りつけているか
確認をしてください。

3 フタユニットを閉めます。

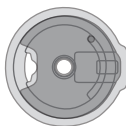
本体を立てた状態で、フタユニットを矢印の方向に
閉めてください。閉めた後は、フタユニットおよび
フタが確実に閉まっていることを確認してください。



注 フタユニットを閉めるときは、本体を傾けたり揺らしたり
しないでください。飲みものがあふれ出たり、漏れたりして
ヤケドやものを汚す原因になります。

4 飲みものを飲みます。

1. 本体を立てた状態で、本体を押さえて
フタを矢印の方向へスライドしてください。
2. 飲み口に口をつけて、ゆっくり傾けながら
飲みものを飲みます。



注 熱い飲みものを入れた場合は、ヤケドにご注意ください。

注 フタが正しく取付けられていないと、飲み口フタにキズがつく原因になります。



5 飲み終わったら

本体を立てた状態で、フタを矢印の方に
スライドして確実に閉めてください。
閉めた後は、フタが確実に閉まっていることを
確認してください。

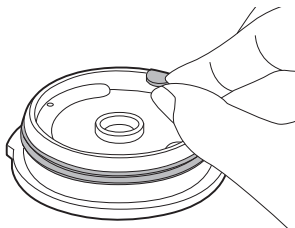
注 飲み終わった際に、残水にご注意ください。
ものを汚す原因になります。



パッキンのはずし方・取り付け方

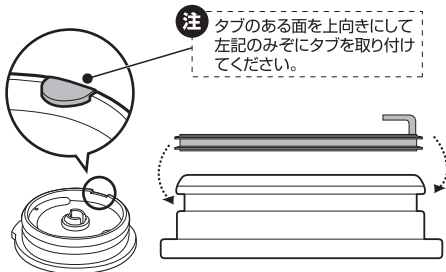
パッキンのはずし方

パッキンのタブをもってはずしてください。



パッキンの取り付け方

上下の方向を確認し、飲み口フタに正しく取り付けてください。

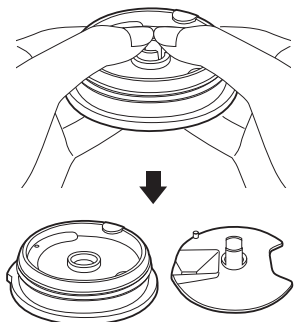


※正しく取付けられていないと、漏れの原因になります。

フタ・飲み口フタのはずし方・取り付け方

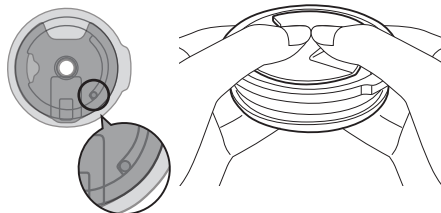
フタ・飲み口フタのはずし方

フタユニットを逆さに持ち、中心の突起を指で押してはずしてください。



フタ・飲み口フタの取り付け方

フタのストッパー部分が飲み口フタの溝にはまるように取り付けてください。



※正しく取付けられていないとキズや漏れ、作動不良の原因になります。

※取付けた後は、フタが正常に動くことを確認してください。

お手入れについて

- お手入れはぬるま湯でうすめた中性洗剤を使用してください。
- ご使用後は、必ずきれいに洗ってください。
- 長期間ご使用にならないときは、きれいに洗って汚れを落とし、十分乾燥させ、高温多湿の場所をさけて保存してください。

本体のお手入れ

中性洗剤をつけた市販のボトル洗浄用ブラシスポンジなどできれいに洗い、汚れを落とした後、流水でよくすすぎ、十分に乾燥させてください。
本体内側の汚れが落ちない場合、水で薄めた酸素系漂白剤を本体内側に入れ30分間(目安)つけ置きしたあと、よく水で洗ってください。

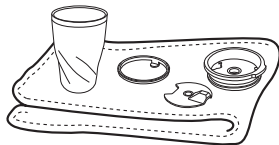


注 酸素系漂白剤を使用する際は、本体をフタユニットで閉じないでください。
本体の内圧が上昇し、フタユニットが破損するおそれがあり危険です。
酸素系漂白剤の注意事項をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

注 本体は水中に放置しないでください。

フタユニットのお手入れ

それぞれきれいに洗い、水分を拭きとって、十分乾燥させてください。長期間ご使用にならない場合は、きれいに洗って汚れを落とし、十分乾燥させてから保存してください。
洗浄時にパッキンを外す場合は、洗浄後にパッキンの付け間違いがないようにパッキンの上下を確認してください。



お手入れ上の注意

●お手入れの際は次の点を必ず守ってください。

■本体・フタユニットは煮沸しないでください。

部品が変形する原因になります。また、飲みものが漏れ、ヤケドやものを汚す原因になり危険です。

■食器用洗浄機・食器用乾燥機は使用しないでください。

部品が変形する原因になります。また、飲みものが漏れ、ヤケドやものを汚す原因になり危険です。

■本体は水中に放置しないでください。

サビや保温・保冷不良の原因になります。

■塩素系漂白剤・シンナー・ベンジン・金属タワシ・みがき粉・クレンザーなどは使用しないでください。

サビやキズ、保温・保冷不良の原因になります。

■本体外側には漂白剤を使用しないでください。

塗装や製造ロットシールなどの剥がれの原因になります。



警告

- 子どものいたすらに注意して、乳幼児の手の届くところには置かないでください。ヤケドの原因になり危険です。



使用上の注意

- 本製品は密閉構造ではありません。
- パッキンが確実に装着されていることを確認してください。
飲みものが漏れ、ヤケドやものを汚す原因になり危険です。
パッキンの取り外しの際には紛失及び未装着に注意してください。
- フタユニットが確実に閉まっていることを確認してください。
飲みものが漏れ、ヤケドやものを汚す原因になり危険です。
また、フタユニットは真っ直ぐに閉めてください。
- 熱い飲みものを入れた場合、次の点を必ず守ってください。
■ 傾けた状態、または顔を近づけた状態でフタを開けないでください。
■ 本体を急に傾けないでゆっくり飲んでください。
- フタユニットは必ず外してから飲みものをに入れてください。
フタユニットを付けたまま熱い飲みものを入れると、飲みものが飛散して、ヤケドの原因になり危険です。
- 飲みものの保温・保冷以外に使用しないでください。
- ストープやコンロなどの火気に近づけないでください。
ヤケドや製品の変形・変色の原因になります。
- 電子レンジでの加熱はしないでください。
火花が飛び危険です。
- 冷凍庫には入れないでください。
- 飲みものの量は右記図の位置までにしてください。
入れすぎるとフタが開かなくなったり、フタユニットを閉めたときに飲みものが溢れ出す原因になります。
また、使用中に漏れ、ヤケドやものを汚す原因になり危険です。
- 持ち運ぶときはフタユニット部を持たないでください。
本体から外れて、ヤケドやものを汚す原因になり危険です。





使用上の注意

- 本製品は密閉構造ではないため、飲みものを入れた状態で横に倒したり、バッグに入れて持ち運ばないでください。
- 次のものは絶対に入れないでください。
 - ドライアイス
 - お茶の葉・果肉
すきまなどにつまり、飲みものが漏れ、ヤケドやものを汚す原因になり危険です。
- スポーツドリンクを入れた場合は、使用後すぐにお手入れしてください。
スポーツドリンクに含まれる塩分により、サビが発生する原因になります。
- においの強いものを入れると、本体やパッキンににおいが残る場合がありますが、品質上問題はありません。
「お手入れについて」に従って汚れやにおいを落とした後、十分に乾燥させてください。
- 熱いやかんなどを近づけないでください。
変形やキズの原因になります。また、本体が転倒してヤケドやものを汚す原因になり危険です。
- 落したり、ぶつけたりして強い衝撃を与えないでください。
変形や割れ、保温・保冷不良の原因になります。またフタユニットが破損する原因になります。
- 飲みものをかきまぜる際、金属製の器具は使用しないでください。
- 改造・修理・分解は絶対にしないでください。
故障・事故の原因になり危険です。
- 運転中は危険ですので使用しないでください。
車内や衣服を汚したり、ヤケドの原因になり危険です。
また、運転者の場合は運転への注意が散漫になり非常に危険です。
- 本体は強く握らないでください。
変形や割れ、保温・保冷不良の原因になります。
- お手入れの際、次の点を必ず守ってください。
 - 本体・フタユニットは煮沸しないでください。
部品が変形する原因になります。また、飲みものが漏れ、ヤケドやものを汚す原因になり危険です。
 - 食器用洗浄機・食器用乾燥機は使用しないでください。
部品が変形する原因になります。また、飲みものが漏れ、ヤケドやものを汚す原因になり危険です。
- ご使用後は、必ずきれいに洗ってください。
お手入れが不十分だと、においや汚れ、パッキンの変色の原因になるおそれがあります。

フタユニットのパッキンは消耗品です。1年を目安にご確認いただき、作動がスムーズでなかったり、表面のザラつきや損傷のある場合は交換してください。

困ったときのQ&A

Q 本体内側が変色したときは？

- A**
1. 汚れが付着している場合、中性洗剤をつけた市販のボトル洗浄用ブラシ・スポンジなどでよく洗ってください。
 2. 斑点状の赤いサビが付着している場合水に含まれる鉄分などが付着したものです。食酢を10%ほど薄めたぬるま湯を本体内側に入れ、約30分後に市販のボトル洗浄用ブラシ・スポンジなどでよく洗ってください。
 3. ザラザラしたものが付着している場合水に含まれるカルシウムなどが付着したものです。クエン酸を10%ほど薄めたぬるま湯を本体内側に入れ、フタユニットを取り付けずに約3時間後に市販のボトル洗浄用ブラシ・スポンジなどでよく洗ってください。

注 酸素系漂白剤を使用する際は、本体をフタユニットで閉めないでください。本体の内圧が上昇し、フタユニットが破損するおそれがあり危険です。酸素系漂白剤の注意事項をよくお読みの上、正しくご使用ください。

Q 保温・保冷が効かないときは？

- A**
1. 熱い(冷たい)飲みものをいれているか確認してください。本体に少量の熱湯(冷水)を入れ、数分間予熱(予冷)すると保温(保冷)に効果的です。
 2. 飲みものの量が少なくないか確認してください。飲みものの量を多くすると効果的です。

Q 異臭がするときは？

A 本体内側・フタユニットに汚れが付着していないか確認してください。ご使用後は、きれいに洗い十分に乾燥させてください。また、ご使用後は必ずお手入れしてください。

お客様サポート

<https://www.do-cooking.com/support/>



お電話でのお問い合わせはお待たせする場合がございます。また、お客様相談室より担当部署におつなぎいたしますのでお調べまでにお時間を頂戴しております。インターネットをご利用いただいた方が早くご案内できますので、インターネット環境をお持ちのお客様は上記QRコードもしくは、URLからご利用ください。

製品情報に関するお問い合わせ

よくあるご質問

製品・パーツ購入のご案内

※製品によっては、パーツ販売をしておりません。

お客様の声(アンケート)

【電話でのお問い合わせ】

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。品質には万全を期しておりますが、万一不具合や、お気付きの点がございましたら、ご使用にならずに、弊社お客様相談室までご連絡ください。

 株式会社ドウシシャ www.doshisha.co.jp

お客様相談室 0120-104-481

【受付時間 9:00～17:00 祝日以外の月～金】

※製品、型番をご確認のうえ、お電話をいただきますようお願いいたします。

※お電話をいただいた際にお話しいただく情報は、お客様へのアフターサービスにおいて利用させていただきますので、ご了承ください。

【修理品の送付先】

〒915-0801

福井県越前市家久町41-1

株式会社ドウシシャ

福井カスタマーセンター